

令和6年12月11日

「郡山市龍角寺本堂欄間制作 最終報告展」を開催

福島大学人間発達文化学類の新井浩教授は、郡山市の古刹『龍角寺』本堂の欄間制作に2017年から取り組んできました。

このたび、全7枚11面（全幅15m）が完成し、東京都中央区銀座の現代彫刻画廊『ギャラリーせいほう』で最終報告の個展を開催いたします。

福島大学の新井浩教授は、郡山市『龍角寺』の本堂欄間制作を2017年から研究の一環として進めてきました。このプロジェクトでは、全7枚の欄間を制作し、完成した作品は合計で11面、全幅15mに及びます。

今回制作した欄間は、おもて面では左右の4枚が釈迦本性譚から取材した人の生き方に関わるエピソードを表現し、うら面には鳳凰、応龍、麒麟、霊亀といった霊獣をあしらっています。おもて面が訪れる人々に見られる面であり、うら面が寺の関係者が見る面として、異なる機能を持つ新しい表現形式を開拓しました。

また、中央の3面は、地域の安全と発展を祈念し祝福する飛天を表現し、季節の花々と共に龍角寺を取り巻く風景を取り入れた作品となっています。

龍角寺は15年前に改築されたお寺で、前回の改築は1600年代に行われたため、この欄間は今後400年間、この地域を見守り続けることとなります。

本欄間の表現効果については、ぜひ現地でご確認ください。

■新井浩個展 郡山市龍角寺本堂欄間制作 最終報告

開催日：令和7年1月13日（月）～25日（土）

時間：11：00～18：00 ※最終日11：00～15：00（予定）

場所：東京都中央区銀座8丁目11番7号東成ビル1Fギャラリーせいほう



郡山市喜久田町 『龍角寺』



第6面 おもて『結実』初秋



第6面 うら『麒麟』仁政が行なわれる世を想う



第3面 おもて 『桜と竹林を舞う飛天』春



第5面 おもて 『猪苗代湖上を舞う飛天』晩夏

(お問い合わせ先)

人間発達文化学類・教授 新井 浩

電話：024-548-5212

メール：arai@educ.fukushima-u.ac.jp

ギャラリーせいほう

電話：03-3573-2468

メール：seihou@ceres.ocn.ne.jp